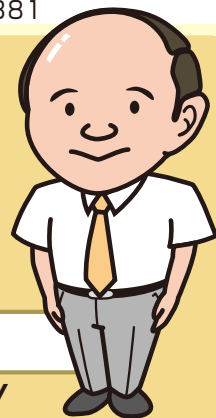




# 西野まさひと

活動報告 NO.31



**ハッキリ言います! 市政にひとこと!**

[ホームページもみてね!] <http://www.nishino1.com/>

■ 西野まさひと友の会では、平成25年3月議会での西野議員の一般会計関連質問や、夏の政局を前に政治活動に取り組む自民党諸氏の活動を報告します。



**狭かった歩道を拡幅!**

**JR用地を取得し、歩道を  
幅1.25mから3mに、  
距離115mを拡幅!**

**ついに  
実現!**

**駅日  
前野**

**大坂上通り歩道拡幅!**

## 大坂上歩道拡幅事業への主な取組み

**H19  
11月**

**JR八王子支社長に陳情。要望書を提出しJR職員と現状を視察。**



**H19  
12月**

**平成19年12月議会にて一般質問**  
日野駅東側ののり尻部分のJR用地を借用しての歩道拡幅が難航。市は用地の買収も視野にJRと交渉。東京都の市町村土木事業補助金も活用。

**H22  
12月**

**平成22年12月議会にて一般質問**  
事業が進展。平成22年度よりJRとの協議、東京都との財源調整に入る。

**H23  
12月**

**平成23年12月議会にて一般質問**  
一般会計の補正で予算化。用地取得費は4,968万円(276㎡)。

**平成24年度 歩道拡幅工事実施**

日野駅前の大坂上通りの歩道の拡幅がついに実現しました。平成19年11月に自民党議員団と共にJR八王子支社長に陳情に伺って以来、実に5年を超える取り組みとなりましたが、ひと一人がようやく通れる幅しかなかった歩道が3mとなり、長さ115mにわたって拡幅され安心して通れる歩道となりました。

「超党派で取り組むべき課題」であると、平成19年の12月議会では一般質問を行って以後も、継続的に取り組み、多くの方々に協力を呼びかけ続けることにより、日野市をはじめ、関係各所の皆様が知恵を出し、協力し合うことで事業は大きく前進し、ついに実現することができました。改めてご協力頂いた全ての皆様に感謝する次第です。

さて、拡幅された歩道を登っていきますと、日野駅西駐輪場にさえぎられ歩道が再び狭くなってしまうと、車道がカーブしていることもあり、歩道から車道へと歩行者があふれると危険な場所でもあります。この問題は日野市でも現状を認識しており、来年度の予算要望にて対処したいとのことです。また、交差点の歩道入口中央にある電柱に関しても、今後対策を検討する予定とのことです。

日野市議会議員 西野 正人



## ■地方公務員給与7.8%カットの課題

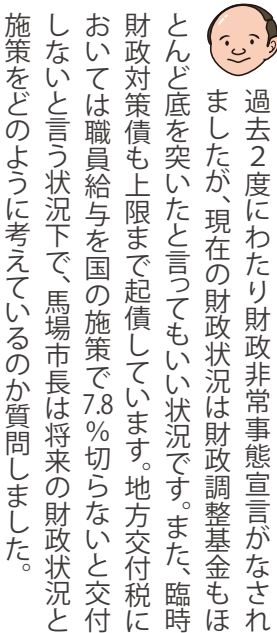
国の要請に対して多くの自治体が「様子見」の状況でしたが、国は減額することを前提に、自治体に配布する交付金を総額で4千億円もの削減を行い、自治体に対して職員給与削減を迫る、いわゆる「兵糧攻め」を行っている状況です。

日野市では、今年度の地方交付税の減額分でも約9億四千万円に及び、市税の増収分の7億6千万円を軽く上回っています。現在、財政調整基金もほぼ底をついた状況下で、この問題は重要な課題であります。この問題について一般会計予算特別委員会総括質疑で質問させて頂きました。

一般  
会計

一般会計予算特別委員会総括質疑

# 将来の財政状況と施策について



●職員給与においては、何となく副市長に言っているのは、半年とは言わないけれども、ある定の額はやつといたほうがいいんじゃないか。そのほうが後々いいぞと言っふうな言い方をしています。それを必ずこつしろとは言いませんけれどね！

将来の財政状況と施策においては、これからここに在る部長や課長を含めて、議会の皆さんともじつに議論をして、これから議員の皆さんもこれはやりましようじゃなくて、これは申し訳ないけれど皆さんやってくださいという議員活動もかなり必要になって来るだろうという認識をさせて頂いています。

交付税における問題は6月議会において新市長に改めてお聞きしたいと思います。また、今後の施策展開においては、馬場前市長の答弁に賛同します。財政が切迫する中において何でも行政がしてくれるという状況は望めません。議員として今後厳しい意見を市民の皆さんに言うことも必要であると思います。財政破綻してからでは取り返しがつきません。



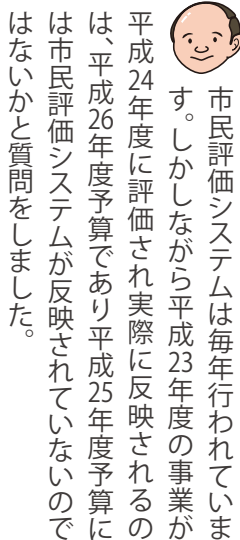
**提言**



一般  
会計

一般会計予算特別委員会総括質疑

## 市民評価システムの反映について



直近のものは、平成24年度に実施をした市民評価で、事業の内容は23年度に実施をしたものという形になっています。実際にそれをどのよう  
に予算のほうに取り入れて来たのかという形だと思えます。きれいに翌年度に反映をしてきているかという、必ずしもそうでない部分があります。

直近のものは、平成24年度に実施をした市民評価で、事業の内容は23年度に実施をしたものという形になっています。実際にそれをどのように予算のほうに取り入れて来たのかという形だと思えます。きれいに翌年度に反映をしてきているかという点、必ずしもそうでない部分があります。

増え続ける社会補償費が財政の半分を超えて、行政運営は今後、ますます難しくなると予想されます。市民にとって何が必要な施策か判断することがより重要となってきます。現在の行政に望まれるのはスピード感を持った運営です。2020プランに沿った形での施策展開においては毎年着実に評価システムが活用されていますが、本年度予算において反映されている事業評価は平成22年度の事業です。民間企業では考えられない事と思います。今後、素早く事業評価が反映出来るような施策展開を望みます。



**提言**



地方の言い分



地方自治体が「様子見」をしていると言いましたが、自治体には自治体の言い分があります。地方自治体は、すでに財政の厳しい状況をしのいできているのです。事業を選別  
**地方**  
し、民間に委託できる事業は民間にさっ  
力頂いて乗り切り、職員の人件費も昇級延伸や新規採用を減らすなど地道な努力を行っています。それに比べ、地方自治体から見て、国はまだ改善の余地があると見えるのです。

しかし、国にも言い分があります。国が復興財源のために給与を削減したのは、国の財政がすでに火の車だからです。交付税は国の政策経費の4分の1を占め、国は赤字国債を発行し、年六埋めしてきまし  
た。歳出の抑制が求められるなか、交付税だけを聖域とは言えません。国は、公務員として最も手をつけにくい給与の削減を断行したのです。国難とも言える震災に対して協力して欲しいという、切なる願いと言えます。

また、国も給与削減に努力している自治体にはその見返りも用意しています。総額で1千5百億円の交付税を準備しています。馬場前市長が答弁で述べていた「ある一定の額はやっておいた方がいいのでは」というのはこの事です。財政調整基金も底をついた今、先延ばしをすれば、年々負担が増えます。

かつて日野市議会は、自ら率先して身を切り、30あった定数を6議席減らして24にしています。市職員と新市長は、この難局に対してどのような答えを出すのか注目しなければなりません。

財政破綻してからは取り返しがつきません！

## 平成25年度予算概要——ハッキリ言ってここがポイント！

# 平成25年度 日野市予算

**一般会計歳出538.1億円**

| 款 区 分        | 平成25年度当初          | 増減率%       |
|--------------|-------------------|------------|
| 議 会 費        | 4億3752万円          | 2.4        |
| 総 務 費        | 52億3462万円         | 12.9       |
| <b>民 生 費</b> | <b>269億1594万円</b> | <b>2.5</b> |
| 衛 生 費        | 46億4743万円         | -1.0       |
| 労 働 費        | 6089万円            | 0.4        |
| 農 業 費        | 1億2220万円          | -34.9      |
| 商 工 費        | 3億1593万円          | 8.1        |
| 土 木 費        | 45億5269万円         | 12.7       |
| 消 防 費        | 21億3370万円         | 3.2        |
| 教 育 費        | 55億3208万円         | -1.6       |
| 公 債 費        | 34億 696万円         | 1.4        |
| 諸 支 出 費      | 1億5000万円          | 70.4       |
| 予 備 費        | 3億0000万円          | 900.0      |

**特別会計 485.07億円**

| 会 計 名    | 平成25年度当初   | 増減率%  |
|----------|------------|-------|
| 国民健康保険   | 173億7809万円 | 1.4   |
| 土地区画整理事業 | 31億3299万円  | -17.9 |
| 下水道事業    | 50億7140万円  | -0.3  |
| 介護保険     | 108億3258万円 | 4.4   |
| 後期高齢者医療  | 33億5507万円  | 4.3   |
| 病院事業     | 87億3716万円  | 3.8   |

**一般会計歳入538.1億円**

| 款 区 分            | 平成25年度当初          | 増減率%         |
|------------------|-------------------|--------------|
| <b>市 税</b>       | <b>280億6291万円</b> | <b>2.8</b>   |
| 地 方 譲 与 税        | 3億3400万円          | 0.6          |
| 利子割交付金           | 1億5500万円          | -8.3         |
| 配当割交付金           | 8500万円            | 6.3          |
| 株式等譲渡所得割交付金      | 1800万円            | 5.9          |
| 地方消費税交付金         | 18億0000万円         | -1.6         |
| 自動車取得税交付金        | 1億7200万円          | -16.5        |
| 地方特例交付金          | 1億3500万円          | -8.8         |
| <b>地 方 交 付 税</b> | <b>7億3000万円</b>   | <b>-56.3</b> |
| 交通安全対策特別交付金      | 2100万円            | -8.7         |
| 分担金及び負担金         | 6億3329万円          | 3.8          |
| 使用料及び手数料         | 12億4021万円         | 0.7          |
| 国 庫 支 出 金        | 73億7877万円         | 1.3          |
| 都 支 出 金          | 70億1087万円         | 4.4          |
| 財 産 収 入          | 3317万円            | -30.4        |
| 寄 附 金            | 1000万円            | 0.0          |
| 繰 入 金            | 23億9201万円         | 179.9        |
| 繰 越 金            | 3億0000万円          | 0.0          |
| 諸 収 入            | 5億9874万円          | 1.1          |
| 市 債              | 27億0000万円         | 13.4         |

前年度比  
**3.9%増**  
約20.3億円  
の増額

昨年度比  
約7億6千万円  
増額!

**法人市民税も  
3.1%アップ**

昨年度比  
約9億4千万円  
減額!

約**5.9億**円を  
**区画整理**へ！

答 弁



一般  
質問

市立病院・保育園・学校での取組みは

感染症とアレルギー対策について問う

市立病院・保育園・学校等での感染症・アレルギー対策について質問いたしました。

市立病院では、院内感染対策指針院内感染対策マニュアルを策定している。今年度、2月のインフルエンザ流行時には、面会者原則立入禁止、来院時の手指消毒、マスク着用の義務付け、同室者の部屋移動禁止、予定入院者の調整を行った。

アレルギー対策については、カルテに明記し院内周知を図っている。栄養士によるダブルチェック、患者のネームバンドでの確認の上、食事の提供を行っている。

保育園では、「子育て施設感染症対策の手引」に沿って対応している。インフルエンザ等の発生時には嘱託医に報告し指示助言を受け対応している。保護者へは、保健だより・園への掲示などを通して連絡している。

アレルギーについては入園時に明記し、看護師がチェックし、栄養士と保護者で献立の確認を行い、除去食対応の子供は専用の食器を使用している。

市内学校では、「学校におけるインフルエンザの予防及び発生時の措置」に基づき対応している。

調布市のアレルギー事故を受け、対応マニュアルに基づき対応を確認し、教職員全員による情報を共有している。



参議院東京都選挙区には2人が挑戦します!

憲法改正への道筋を含め、国の将来を左右する重要な選択です!

東京から、日本を取り戻す  
5つの活力実行宣言

熟年パワーで  
世界一の  
東京に

LCC  
(格安航空)の  
羽田乗り  
入れの実現

世界一の食と  
スポーツの都  
東京の実現

交通インフラ  
整備で快適な  
東京ライフを

安心と、  
健康と、  
生きがいを



たけみ敬三

さん

参議院議員 元厚生労働副大臣

たけみ敬三ホームページ <http://www.takemi.net/>

若者・女性・高齢者が主役になれる  
社会への転換が必要です!

若者が  
働く力が  
社会を支える  
日本に!

子育てと  
働くことを  
両立できる  
日本に!

年金だけでも  
安心して  
暮らせる  
日本に!

地域に  
仕事と  
にぎわいを!

東京を  
グローバル  
拠点に!

日本の  
自主・自立・自尊を  
取り戻す!



丸川珠代

さん

厚生労働大臣政務官 参議院議員

丸川珠代ホームページ <http://www.t-marukawa.jp/>

都政からも政治改革をさらに進めるために挑戦します!

- 東京の経済活性化に向け、中小企業と個人商店を中心とする商店街へ一層の支援を。
- 花粉症対策、水資源保護の為、花粉の少ない森づくりと、多摩産材の利用促進を。
- 日野駅の改良、JR中央線立川駅以西と京王線の立体化を。
- 川崎・北野街道の整備促進と次期計画の策定を。
- 首都高速道路を高井戸から八王子へ延伸し、料金の三多摩格差解消を。

日本を取り戻す。

<http://www.kogatoshiaki.net/>



自民党日野総支部長  
東京都議会議員

古賀俊昭

さん



2020年に東京をオリンピック・パラリンピックの開催地とするために、2013年の開催地東京決定に向け全力を尽くします。

